

# 名南病院の 身体にやさしく、痛みの少ない最新手術

！安全で精密な手術！

発行日：2012. 2.1

発行：名南病院手術室

No. 14

## 疾患シリーズ： <sup>たんせきしょう</sup>胆石症 No.2

### 治療方法

#### 1)胆嚢結石

胆嚢結石に伴う何らかの症状がある方は治療の適応になります。無症状の方も定期的な検査(年1~2回程度の腹部超音波検査)を受けることが望ましいですが、積極的な治療の対象にはなりません。



無症状の方でも

- (1)胆嚢の壁が厚くなっている
- (2)胆嚢が縮んでいる(萎縮している)
- (3)胆嚢内の多きな結石や多数の結石のため腹部超音波検査で胆嚢の壁を正確に評価することが難しい
- (4)胆嚢の壁が全体に石灰化している(陶器様胆嚢)



などの所見が認められる場合は治療の対象となります

#### a. 胆嚢摘出術

胆嚢結石治療の第一選択となっている治療法です。腹腔鏡下胆嚢摘出術は標準的な治療法でお腹の傷が小さく、術後の回復も早く、早期に退院、社会復帰が可能です。ただし胆嚢の炎症のため周辺臓器(肝臓や腸など)と癒着している場合や胃の手術を受けたことのある方は開腹胆嚢摘出術を行なわざるおえないこともあります。

#### ?? 胆嚢を残して石だけ取れないの ??

石だけ取るほうが胆嚢ごと摘出するよりも時間と手間がかかります。結石ができる胆嚢は病気のもとであるわけですから、胆嚢摘出術は胆嚢結石の根治的な治療と言えるでしょう。

#### b. 胆石溶解療法

胆嚢の機能が保たれていて、大きさが1cm程度の石灰化していないコレステロール系結石が対象でウルソデオキシコール酸を含む薬剤を内服することで胆汁の流れをよくし胆石を溶かす効果を期待する。しかし基本的に胆石の完全除去はほとんど無いため予防的に処方されることが多い。

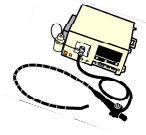


#### c. 体外衝撃波結石破碎療法

胆嚢の機能が保たれていて、結石の大きさが2cm以下で数が1個のコレステロール系結石が対象で体外から衝撃波をを当てて結石を細かく砕く療法です。この治療は特殊な装置が必要なため、どこの病院でも行えるわけではありません。

## 1)胆管結石

無症状の胆嚢結石とは異なり、胆管結石は、たとえ無症状でも将来的に重症の急性胆管炎や急性膵炎を起こす危険があるため、原則として治療の対象になります。その治療法は内視鏡的治療法と外科的治療法があります



### a. 内視鏡的治療法

内視鏡を使って胆管から結石を取り出すため、十二指腸乳頭を広げ結石を特殊な器具を使って取り出します。

**内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)** → 電気メスで乳頭を切開

**内視鏡的乳頭バルーン拡張術(EPBD)** → 風船(バルーン)で乳頭を広げる

### b. 外科的治療法

内視鏡的治療が胆管結石の標準的治療となるす十数年前までは、多くの施設では開腹手術が第一選択の治療法でした。しかし開腹して電気メスで胆管を切開、結石を取り出す治療法は内視鏡的治療に比べると明らかに体への負担は大きく、現在では内視鏡的に除去することが困難な胆管結石が開腹手術の対象となってきています。

**腹腔鏡下で胆管結石を取り除く治療法**は、開腹に比べ体の負担が少なく、また一度で胆嚢結石と胆管結石の治療が同時にできるといふ点で有用な治療法です。

当院でも十数年前より

**腹腔鏡下胆嚢摘出術**を行なっています。



胆管結石と診断された方で

**腹痛、発熱、黄疸**といった症状がある

→ 放置すると命に関わるので、**緊急で医療機関を受診**

症状は無いが**血液検査で肝臓や胆管の酵素が異常値の場合**

→ **速やかに治療を受ける必要があります**

全く症状がない

→ **専門施設受診して治療方針について相談**



日常生活で重要な事は、

**脂肪の多い食物を避け、規則正しい生活を身につける事です。**

**和食を中心とした食事、過労やストレスを避け、定期的に適度な運動をし、  
穏やかな日常を送ることも大事です。**



**次回は、大腸癌とは？についてです！**